

太宰府市地域福祉推進委員会 会長

もりぐち ただひこ  
森口 忠彦さん



新型コロナ禍に苦しんできた2年間でしたが、この間にこれまで思いもよらなかった非正規労働者、アルバイト学生、働く女性、子育て家庭などへのしわ寄せが生じ生活上の格差が広がった、と言われています。

これらの人々の窮状を打破するのは、最終的には「政治」の責任であり、「福祉」の役割です。福祉とは「すべての人が安心して暮らせる社会づくり」と言えますが、法律に裏打ちされた行政上の福祉サービスだけでなく、市の政策によるコミュニティバスの運行、災害支援などを含みます。さらに、地域や職域、私たち身の回りの人同士による助け合いも重要な福祉の基盤です。「太宰府市地域福祉推進委員会」では現在令和4年度を初年度とする第四次地域福祉計画を策定中です。市内各界の専門家が集まって議論していますが、この計画の底流に流れる考え方は「地域共生社会」と「包括的支援体制」の構築です。わたし達も隣近所や地域の人との距離をなくし昔の良きコミュニティを取り戻す必要があります。委員会としては、太宰府市で生活する人々に「ここに住んでよかった」と思われる市にするため、市民の皆様信頼される福祉基盤を構築し、的確な福祉情報と福祉提供手段をお知らせし、福祉について世代を超えた議論と判断ができるようにしたいと考えています。

## 特集

私のだざいふ、市政ニュース、トピックス  
..... 2~5

太宰府の梅トライアルアワード  
..... 6~7

令和4年度の税の申告受付を開始  
..... 8~10

ご存じですか？姉妹都市・友好都市  
..... 11

新型コロナウイルスワクチンの接種  
について ..... 12

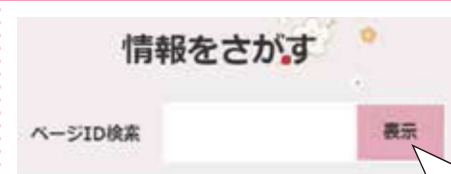
市からのお知らせ ..... 13~19

連載 ..... 20~27

なんでも情報コーナー ..... 28~35

太宰府の文化財 ..... 36

記事ページをホームページで検索！



広報だざいふの記事にある最大7ケタのページIDを太宰府市ホームページトップの検索画面に入力すると、同じコンテンツの記事ページをさがすことができます。

# 市政ニュース

## 史跡地の有効活用 まほろばの森「つみきセット」が完成！

12月14日(火)、太宰府市民の森(以下、市民の森)の伐採木を利用して作った、まほろばの森「つみきセット」の発表会を行いました。

(一社)まほろば自然学校は、市民の森で伐採され廃棄されるはずであった樹木から、森の貴重な恵みを皆さんに楽しみながら使ってもらう方法はないかと考え、この「つみきセット」を作りました。スタッフの皆さんが一つずつ丁寧に加工し、薬品などを一切使っていません。この取り組みは、伐採した樹木の処分費を抑えつつ、環境教育にも役立つという、史跡地有効活用の事例となりました。

岩熊志保代表理事は、「史跡地であるからこそこれだけの自然が残っています。さまざまな生き物たちが命を育んでいるので保全していく必要があります。収益が市民の森の維持管理や生物多様性の保全に活用されることを望んでいます」と話しました。

このまほろばの森「つみきセット」は、すべて太宰府市のふるさと納税の返礼品として、提供中です。



まほろばの森「つみきセット」

## 団体からの寄附

### コーユーレンティア(株)から 「企業版ふるさと太宰府応援寄附」として 寄附をいただきました

本市に関連会社の九州エリア物流拠点を置かれているコーユーレンティア(株)から、「1300年の歴史に思いを致す持続可能な太宰府構想」に賛同いただき、環境に関する事業に役立ててほしいと企業版ふるさと納税をいただきました。

これを受けて、市内の小学4年生を対象とした環境学習の副読本の制作などに活用させていただく予定です。



贈呈式の様子

## 友好都市交流・教育

### 令和3年度ふるさと・夢プロジェクト 第1回交流会

本市で実施している「だざいふ・ふるさと学習」の総まとめとして、太宰府市の歴史や文化とつながりのある友好都市多賀城市の中学生と交流することで、両市の関係を知り、広い視野からふるさと太宰府について考える「ふるさと・夢プロジェクト」。11月29日(月)に市内中学校2年生8人のふるさと大使が、本年度はコロナ禍のためオンラインで交流しました。

両市の生徒たちは、自分たちで考え工夫してプレゼン資料を作成し、ふるさとの歴史や学校での取り組みを紹介、気持ちの込もった分かりやすい発表でした。フリートークでは、本市の生徒から「日本三景の松島について教えてほしい」、多賀城市の生徒からは「太宰府市の梅を現地で見てみたい」など活発な意見交換があり、有意義な交流会となりました。

「来年は絶対に現地に行って交流がしたい」と口にしてきた生徒たちは、その日が来るのを心待ちにしています。



オンラインでの交流会の様子

## 令和発祥の都PR

### 森永製菓 × 太宰府市 「甘酒 九州・沖縄限定デザイン」発表会

12月6日(月)、森永製菓(株)と本市のコラボレーションによる「森永甘酒 九州・沖縄限定デザイン」の発表会を行いました。

甘酒市場の最需要期であるお正月や受験シーズンに合わせ、本市の持つ梅や開運のイメージを市長先頭に積極的に売り込み、コラボレーションが実現。パッケージには、「令和発祥の都、太宰府市」の標記と、大宰府政庁跡に立つ令和発祥の都PRキャラクターが梅の花とともにデザインされています。

森永製菓(株)島田正也九州支店長は、「この2年コロナ禍で苦しい思いをされた方も多いと思うが、開運祈願の思いを込めた甘酒を飲んで少しでも元気で明るい気持ちになっていただければ」と話しました。

商品は12月中旬から1月中をめどに、九州・沖縄地区にて期間限定で発売されています。



発表会の様子

## 団体からの寄附

### つくし青年会議所と太宰府市商工会 青年部から寄附をいただきました

つくし青年会議所(遠藤尚管理事長)と太宰府市商工会青年部(浦藪義文部長)から、寄附金をいただきました。

これは昨年10月、コロナ禍の中少しでも明るい気持ちになれるよう、両団体の共催で行われた花火大会(筑紫地区各市で開催)に寄せられた多くの協賛金の剰余金を各市へ寄附いただいたものです。

贈呈式では、各代表の2人から「コロナ禍のなか、何ができるか考える1年でした。少しでも役に立ててほしい」とのお話がありました。



贈呈式の様子

## 祝成人 令和4年成人式開催

1月9日(日)にプラム・カルコア太宰府で成人式が開催され、市内では752人が新たに大人の仲間入りをしました。本年は新型コロナウイルス感染症対策のため、中学校区で2回に分けて記念式典を行いました。会場は旧友との再会を喜ぶ新成人の笑顔であふれていました。

人生において大きな節目を迎えた皆さんの今後益々の活躍を期待します。



当日の会場内の様子

## 市民の安心安全 令和4年太宰府市・筑紫野市合同消防出初式開催

本市と筑紫野市合同の消防出初式が1月9日(日)、太宰府東中学校で開催されました。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止されましたが、本年は規模を縮小して2年ぶりに開催することができました。

本市、筑紫野市の両市消防団、筑紫野太宰府消防本部などが参加し、消防活動での功績や永年勤続に対する表彰などが行われました。



合同消防出初式の様子

## 高齢者の活躍 令和3年度高齢者福祉功労者に対する県知事表彰等受賞

この賞は、高齢者の福祉増進のため多年にわたり献身的活動を続けている皆さんに贈られる賞で、毎年福岡県が実施しています。本年度は、本市から7人が表彰状・感謝状を授与され、12月16日(木)に伝達式が行われました。

楠田市長から、これまでの活動への感謝と受賞へのお祝いの言葉が贈られました。

	区分	氏名	所属
表彰	老人クラブ会長	ふちかみとしはる 湊上利治さん	こうじゅかい 香寿会(梅香苑区)
	市老人クラブ連合会女性部長	さきまさとよ 佐伯匡世さん	しょうじゅかい 松寿会(吉松区)
感謝状	高齢者相互支援活動員	きくたけみちこ 菊武美智子さん	かしまかい 鹿島会(榎区)
		ふくもとやすこ 福元靖子さん	
		りしまるまゆみ 力丸真弓さん	
		くがふさこ 久我フサ子さん	
		りしまる 力丸ふさ彥さん	



表彰状・感謝状を手にする出席者